



SESERAGI—MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2024～2025年度 RI会長 ステファニーA.アーチック
RIテーマ ロータリーのマジック

クラブテーマ「ロータリーの理解を深め、地域社会にロータリーのマジックを広めよう」

会長 仲原実圭 幹事 原 兄多

第1598回例会
2025. 3. 21(金)晴

司会: 高村勝則君

ロータリーソング「日も風も星も」 指揮: 杉山寿美子君

事務所 三島市泉町9-8 1F南
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 仲原実圭君

今週の19日(水曜日)に富士ロータリークラブへメイクアップに行きました。メンバーは私と服部エレクト、小島ノニーです。目的は地区行動計画推進計画を実行するための意見交換会例会という事で、卓話者に地区行動計画推進リーダーの中村皇積パストガバナーが参加するとの事で、当クラブも戦略委員会を構築していくうえで是非聞きたい事柄でしたので3人で参加してきました。内容的には、現在のクラブの状況、困っていること、会員増強に取り組みたいかどのようにアプローチしたらよいか? どのような奉仕活動を計画的に推進していったらよいか? 等々の意見交換がなされました。



- 充実した奉仕プロジェクト
- ロータリー財団の活用と支援
- ポリオ根絶活動への理解と協力
- 会員基盤の維持・拡大
- 公平、多様で貢献を讃える文化
- 次世代のリーダー育成
- 会員の体験と満足度

地域における存在感と独自性 — 地域の機会と特色を知っている
地域に知られ歓迎されている

『下記の要件を満たすか検討することも重要です!』

奉仕プロジェクトを創造する

- ・地域社会が本当に必要としている特定のニーズに絞り込む
- ・ロータリーだからこそ出来るプロジェクト
- ・ロータリーならではのアプローチか
- ・ゴールがある『プロジェクト』か(他に委譲できるか)

- ・持続可能な変化をもたらすか
- ・柔軟な資金調達が可能か
- ・事業の進捗・成果を検証できるか
- ・地域に反響を呼ぶか
- ・上記に適さなくなった場合、事業を終結できるか

一時間ほどのディスカッションの例会でしたがとても充実していました。そのあと食事をしながらの懇親会でしたが、奉仕活動や会員増強・新会員研修のあり方等多くに意見交換が行われました。例会を含め3時間ほどの例会でしたがアツという間の時間でした。

当クラブでも来月4月4日金曜日の夜例会に中村皇積PDGをお招きし、『効果的な戦略計画とこれからのクラブ運営』についての卓話を予定しています。皆様、楽しみにしてください。次にご紹介するのは、地域社会と協調した奉仕活動という事で、静岡第2グループの柿田川ロータリークラブの『柿田川湧水群を守る清掃活動』をご紹介します。



わがクラブ名は、日本三大清流の一つであり、環境省指定の「名水百選」にも選ばれている「柿田川」に由来します。湧き水を水源とするこの川の水を守ることは、流域の水質を向上させ、自然環境を保全することでもあり、ひいては、この地ならではの生態系を維持することにもつながります。外来種の駆除を行うことで、柿田川の固有植物「ミシマバイカモ」も、守ることができるの

名水百選・柿田川湧水群を守り続ける

のではないということ。クラブ、地区を超え第2580地区のロータリアン、米山奨学生、米山学友も参加し、両地区のロータリー家族によって、本格的な清掃保全活動に当たるのです。これこそ文字通り「意義ある事業」といふべきに自画自賛していたところ、2017-18年度、本当にR1の「意義ある業績賞」を受賞したのはうれしい限りです。

「名水百選」に選ばれた「柿田川」の環境を保全することと柿田川に自生する固有植物「ミシマバイカモ」を守ることが目的という事で、クラブを超え、第2580地区のロータリアンや米山奨学生、米山学友も参加する奉仕活動となっています。当クラブからも一昨年米山パスト会長も参加しています。この活動は2015-16年度より行われ現在に至ります。継続的な奉仕活動の一例として「ロータリーの友」に掲載された事例です。最後に本年度の国際奉仕カンボジアの活動がニュースとして取り上げられ掲載されましたことをご報告いたします。



出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	33/39	84.62%	33/39	84.62%
今回	28/40	70.00%	会員総数	41名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

伊丹君、遠藤君、大庭君、岡君、加藤(貴)君、小林君、田村君、土屋君、成田君、宮澤君、吉村君、米山君
(*出席免除会員の欠席者 片野君)

卓話

渡邊仁也君



こんばんは。渡邊仁也です。

野村証券を退職後、独立、個人事業主として歩もうとした矢先に離婚。子供2人(息子、娘)がいますが、息子が私を選んでくれたので、息子が中学2年生の時からシングルファーザーとして単身子育てをしていました。幸い個人事業主だったので、時間を自由に使えたので何とかやってこれました、その後、仲間と起業、現在に至ります。

起業といっても、まだ駆け出しですので、監査役には先日の監査で「組織としての体をなしていない」と言われています…まだまだ経営を勉強中の未熟者ですがよろしくお願ひいたします。本日の卓話は、普段、ニュース等で聞いたりしているものですが、あらためて認識していただきたいと思う内容を選びさせていただきました。

お手元に

○財務省のパンフレットの一部分

○日銀がHP上で公表している日銀財務諸表の一部分

○「政府債務残高の対GDP比、戦後と今」

があると思いますが、こちらを使用させていただきます。

まずは、財務省が発行しているこちらの資料をご覧ください。

日本の歳出の内訳です。

我々の納めている税金を含め、お金が何に使われているかの表です。

真ん中に、歳出総額112.6兆円と書いてありますが、これは一年間に日本が112.6兆円のお金を使う計画をたてているという事を表しています。

内訳から見ると、一番多いのが社会保障で37.7兆円、二番目に多いのが国債費、これは国債の利払いと、国債の償還金に使われます。

三番目に多いのが地方交付税交付金等です。この3つで歳出の約75%を占めています。

昔、公共事業が無駄遣いと言われていた頃がありましたが、この表をみると、予算としては、今はそんなことはありません。

これを一般家庭に例えると、社会保障は、おじいさん・おばあさんの病院代、国債費は借金の返済、そして地方交付税は地方の大学に行った子供への仕送りといったところでしょうか。

他に使えるお金がほとんどありません。

次のページをご覧ください。

同じようにグラフの真ん中を見ていただくと、一般会計歳入総額112.6兆円となっています。これは今年、日本が使えるお金が112.6兆円あり、その内訳を示しています。

一般的に112.6兆円使う予定をたてても、112.6兆円収入があれば何の問題も無いと思いますが、この表を見ていただくと、左側に公債金35.4兆円とあります、これは、平たく言うと借金です。つまり日本は112.6兆円のお金を使う予定を立てていますが、その内の31.5%、35.4兆円は借金という状況です。

これも、一般家庭に例えると500万円しか収入が無いのに、毎年150万円借金して650万円を使う予定をたてているということです、少し無茶ですね。500万円しか収入がなければ500万円です、少し無茶ですね。500万円しか収入がなければ500万円です、少し無茶ですね。500万円しか収入がなければ500万円です、少し無茶ですね。500万円しか収入がなければ500万円です、少し無茶ですね。

つまり、借金が減るどころか、毎年増え続けています。借金を返すために借金をしている、しかも返済金額よりも多く…自転車操業です。仮に借金をしなかったとすると、税金とその他で約69.5兆円です、これだけで国の運営ができるかと言うと不可能です。毎年の借金の返済だけで約35.4兆円ありますので、残りの使えるお金が34.1兆円。ほぼ社会保障で終わってしまいます。

次のページをご覧ください。

ここでは、何故、日本の財政がここまで悪化したかを見ることが出来ます。1990年と比較してですが、歳出が66.2兆円から112.6兆円へと46兆円増えているのがわかります。

増えている46兆円の約56%が社会保障です。

公共事業や教育費、防衛費などはほとんど増えていないことがおわかりいただけると思います。

1990年以降、日本は増え続ける社会保障費のために借金をし続けているということになります、そしてそれを補う為に、5.6兆円だった毎年の借金が35.4兆円、35年で6倍にまで増えました。政府はNISAやイデコといった制度をつくりましたが、これは将来、あなた達の面倒はみれません、自分の老後のお金は今から自身で準備してくださいと言っているように感じます。

その他、財務省のHPには、増税した消費税はこういう形で使っていきます、というようなものも公開されているので一度ご覧になってください。

経済情報誌にも出ていますが、日本の抱える借金は2024年12月末時点で1,317兆6365億円です。

では、日本はこの借金をどこからしているかと言うと、国債という債券を発行販売して借りています、誰がこの国債を買っているかと言うと、最大の買い手は日銀です。

次のページの日銀の最新の財務諸表をご覧ください、これも日銀のHPで公開されています。

左側が資産になりますが、資産の部合計で約756兆円、そのうち一番多いのが上から3番目の国債になります。

約589兆円です。つまり日本の借金、国債1,316兆円の約半分は日銀が受けてくれていることになります。

と、ここまでは良いのですが、右側の負債の部、純資産の部をご覧ください。負債の部の合計が約756兆円、そして、純資産の部の合計が5.8兆円です。一見、756兆円の資産を持ち華やかに見えますが、中身は資産の99%は借金で購入したもので、実際の資産は1%にも満たない5.8兆円しかないというのがお分かりいただけるかと思います。

日銀が購入した589兆円の国債は自身のお金で購入したのではなく、輪転機で新しくお金を刷ったり、いろいろなどころから預かっていたお金を使って購入したのになります

ここから先、もっと細かく説明となると、この資料だけでは厳しいので、日銀が国債を受けていますが、中身はこんな状態だということをご認識下さい。

日銀の金庫を開けてもカラッポです、「ヘリコプターマネー」「永久国債」いろいろ言われますが、世界中探してもこんな中央銀行はありません、昔、スイスの中央銀行が一度これと同じ状況になったことはありますが、財政黒字のスイスと財政赤字の日本では全く違います、中央銀行の信用が無くなると、その国の通貨はどうなるかというと、間違いなく、暴落します

しかし、日本はここまで借金が増えたのは今回が初めてではなく、1945年(昭和20)年に一度、現在と同じ水準まで増えたことがあります。

次のページの、政府債務残高対GDP比をご覧ください。昭和20年、1945年の第二次世界大戦終戦後に今と同じくらいにGDP比で200%という時がありました、この時は戦後なので仕方ないと言えは仕方ないです。

しかし、その後ですが、グラフの線が切れています。これは印刷のミスでは無く、一発で債務残高を50%まで減らしました。

GDP比50%と言えば、他の先進国と比べても、そんなに突出した数字ではありません、健全な国です。この時に、何があったかと言いますと、次のページの新聞記事をご覧ください。政府は昭和21年に、「新紙幣を発行します、ただし、新紙幣に交換出来るのは銀行に預けてあるお金のみです、そして、新紙幣発行後は旧紙幣は一切使用出来なくなります。」とアナウンスしました。つまり、タンス預金やお財布に入ってるお金は一切使えなくなると発表しました。そして、国民に持っているお金を全部銀行に入金させました。当然ですよ、使えなくなったら困りますので。そして、次のアナウンスが左上の新聞記事です。「今日から預金封鎖、解除は財産税徴収後」新紙幣を発行する、預けないと使えないお金になる、そうアナウンスして、国民にお金を全て預けさせ、出金させなくして、誰が、幾ら、お金を持ってるかを把握しました。

そして、解除は財産税徴収後…、この財産税とは何かと言いますと、左下の表をご覧ください。持っている財産の額によって財産税という名の税金を徴収しました…。

表の一番右下を見ていただくと、1500万円超、90%と買っています、これは1500万円の財産がある人は税金として1350万円に強制的に納めなくてはならないということを示しています、納めると言うか勝手に銀行預金残高を減らしたと聞きました。こうやって、日本は強制的に見事に国民からお金を徴収して借金を返しました。頭の良い方がいたんですね…。

現在、90歳以上の方は覚えてる方がいらっしゃるのでしょうか？「お金が紙くずになったと…」預けなかった方もいらっしゃるみたいなんです。

今の時代にこんなことをやったら大反発がおこるのでやらないとは思いますが、返さなくて良い借金はありません。

私には財務省がのような資料をHP上で誰でも見れるようにしておく背景には、今まで説明してきた内容が現実になった時のリスクヘッジにしか思えません。中には日本は借金が1000兆円以上あっても、国民の預貯金が1000兆円以上あるから大丈夫と言う方もいますが、みなさん、政府が昭和20年の時のような財産税を交付したら支持しますか？

似たような話で言うと、15年ほど前のギリシャ国民は拒みました。自身の収入が減るくらいなら国がつぶれても構わないと…。実はインドはこれに似たようなことを数年前行い、富裕層が脱税で隠し持っていたお金を全て表に出させました。

日銀の財務内容も良くないですし、高齢化に伴い今後は出ていくお金は確実に増えていきます。

自身のお金、生活は自身で守らなくてはならない時代になってきています。

本日はありがとうございました。



スマイルボックス

服部光弥君:明日、次年度幹事と伊東で開催するPELSIに行ってきます。例年PETSと言われていた次年度会長幹事対象に開催される会議です。楽しむことができます。

渡邊仁也君:誕生日に失くしたスマホが今日見つかりました。やっぱり日本はすごいです。スマイルします。

入江俊介君:とりあえず、本年度の転勤は回避しました。また、1年よろしく願いいたします。

芹澤宏昌君:仁也さん卓話がんばってください。

幹事報告

幹事 原兄多君

来週は昼例会で、クラブ協議会です。

内規・細則案を今一度ご確認願います。

4月7日に静岡第1グループの親睦ゴルフ大会、5月21日に小泉ガバナー主催の地区ゴルフ大会があります。

奮ってご参加ください。

ROTARY NEWS

世界中で活躍する「行動人」

ニュージーランド

ワイカト・サンライズ・ロータリークラブの会員たちは、毎年開催される熱気球フェスティバルのおかげで、募金やロータリー認知向上で大きな成果を上げています。2025年の「バルーンズ・オーバー・ワイカト」イベントは、3月18日から22日まで、クラブの地元であるハミルトンで開催される予定です。以前にこのイベントの運営を担当したクラブ会員のウイレミーン・ウェネケルスさんによると、約24の熱気球のほか、花火、音楽、遊園地のアトラクション、フードテントなどが登場します。ロータリアンたちは観客の案内役を務め、情報テナやVIPエリアのスタッフとしても活動します。また、グッズの販売や、来場者が中を歩けるように地面に固定された「通り抜け可能な熱気球」の運営も行います。2024年のイベントでは、クラブが集めた5800ドルが、「イベントに参加したもう一つの慈善団体である「トゥルー・カラーズ・チルドレンズ・ヘルストラスト」に寄付されました。

この記事は、Rotary 誌の2025年3月号に掲載されました

